

公務員初、ミスコン日本一、少しの勇気で 変わる世界。挑む自分と向き合った半年間

私は現在、佐賀県庁で働いています。社会人3年目になる頃、ミスジャパン佐賀大会のコンテストの存在を知りましたが、公務員である私は目立つことを恐れ、積極的になれませんでした。しかし、迷いながらも締切10分前にエントリーを終え、後日通過の連絡が届いたときは気持ちが一気に高揚したのを覚えています。ミスジャパン佐賀は、大会までの4ヶ月間にキャンペーンや約り、防災講座など二風変わったカリキュラムを通して、内面の強化育成に力を入れている大会です。佐賀大会の見所は華やかなドレスを身に纏い行うスピーチです。原稿を完成させることに苦労しましたが、私は「自分らしく生きる事」と「周りへの感謝」をテーマに、佐賀代表として日本大会への出場を決めました。日本大会までの2ヶ月は、ウォーキングや発声練習などに今までの以上に打ち込みました。特に日本大会ファイナルステージで行われる質疑応答対策で、大会当日には約1000問の想定問答が完成していました。

された瞬間は、人生で初めて達成感を感じたとともに、一生忘れられない光景となりました。半年前はエントリーにすら勇氣でいた私でしたが、ミスジャパンを通して、鍛えられた心と凛々しさを身に纏った女性に成長できたと思っています。また、公務員としてグランプリを獲得したことで、誰もが自分らしく生きられる世の中の一助になったのではとも思っています。さて、現在2024ミスジャパン佐賀大会がスタートしています。私は礎を作ってくれた佐賀大会のアンバサダーとして佐賀を盛り上げます。佐賀大会は8月5日に開催が決定したことで、沢山の方に応援いただきたいです。

吉田愛（よしたあい）
1998年5月25日生まれ
佐賀県佐賀市出身
職業 公務員（佐賀県庁）
特技 書道
大学 北九州大学 法学部
21年度に県庁入り。現在は県佐賀中部保健福祉事務所で小児慢性疾患の支援を担当している。

2023ミスジャパン コンテストにおいて
グランプリに輝く



2023 ミスジャパン

佐賀大会選出 佐賀代表 吉田 愛さん



▲締切りギリギリまで応募を頂いた佐賀大会エントリー時の初顔らしい吉田愛。上記写真の半年後、日本大会にてグランプリ直後の暁とした姿。